

平成29年度「新しい東北」交流拡大モデル事業

- 東北への外国人の交流人口拡大につながる民間の新たなビジネスモデルの立ち上げを支援。
- 37件の提案の中から、11件を選定。
- 約1年間に渡って、旅行商品の開発、流通の仕組みの構築、プロモーションなどに取り組み、我が国の観光を牽引する民間企業各社と復興庁が総力を挙げ、東北の観光復興に取り組む。

東北のブランドイメージの創出

1. 「武士道/TOHOKU SAMURAI SPIRITS」サムライ魂の聖地ブランド化 (NTTドコモ)
2. 食材のふるさと「TOHOKU Nihonsyoku & Sake Tourism」 (東武トップツアーズ)
3. 「TOHOKU BREWING Tourism」—歴史と伝統を醸し出す旅— (福島民報社(東北七新聞社協議会))

受入体制強化

4. 優しい東北「MUSLIM FRIENDLY TOHOKU」ブランド (サニーサイドアップ)
5. 東北における訪日外国人の周遊観光促進に向けたバス路線の活用 (JTB東北)
6. 東北TOMODACHIプロジェクト—東北を個人旅行(FIT)の聖地に— (近畿日本ツーリスト)

「学びの場」としての魅力づくり

7. 中国・台湾・アメリカ向け訪日教育プログラムの展開 (パナソ)

観光先進地への新たな試み

8. 「Fooding Tourism」—知的な好奇心と味的好奇心を満たす東北の旅— (料理通信社)
9. 東北の食産品×スポーツイベントの相乗効果による、人・モノの継続的な交流促進 (JTB西日本)
10. 海外富裕層向け高品質な東北の旅行商品流通モデル (ダイヤモンド・ビッグ社)
11. 東北水系観光資源との触れ合いを通じた外国人観光客と地域産業の交流機会創出 (双日ツーリスト)

